

教育員会等との連携協働による「信州教育」を担う教員養成プログラムの構築 —地域教員希望枠を活用した組織強化—

【長野県の地域課題】

広大な県土と小規模校・複式学級の急増
(複式学級: R1・28学級→R7・56学級へ倍増)
不登校児童生徒の増加 (全国上位)
中山間地域における教育の質の確保

中山間地域における教育課題と多様化する学びの課題が同時進行

長野県の「地域資源」
豊かな自然・文化・産業等
を活用した
『信州教員』育成プログラム

【目指す『信州教員』像】

1. 個別最適な学び×協働的な学びの設計・実践力
2. 不登校等、多様な背景を持つ児童生徒への個別支援・学習完了構築力
3. 地域資源を活用し、学校と地域を繋ぐ力
4. 複数校・地域と連携しながら教育をマネジメントする力

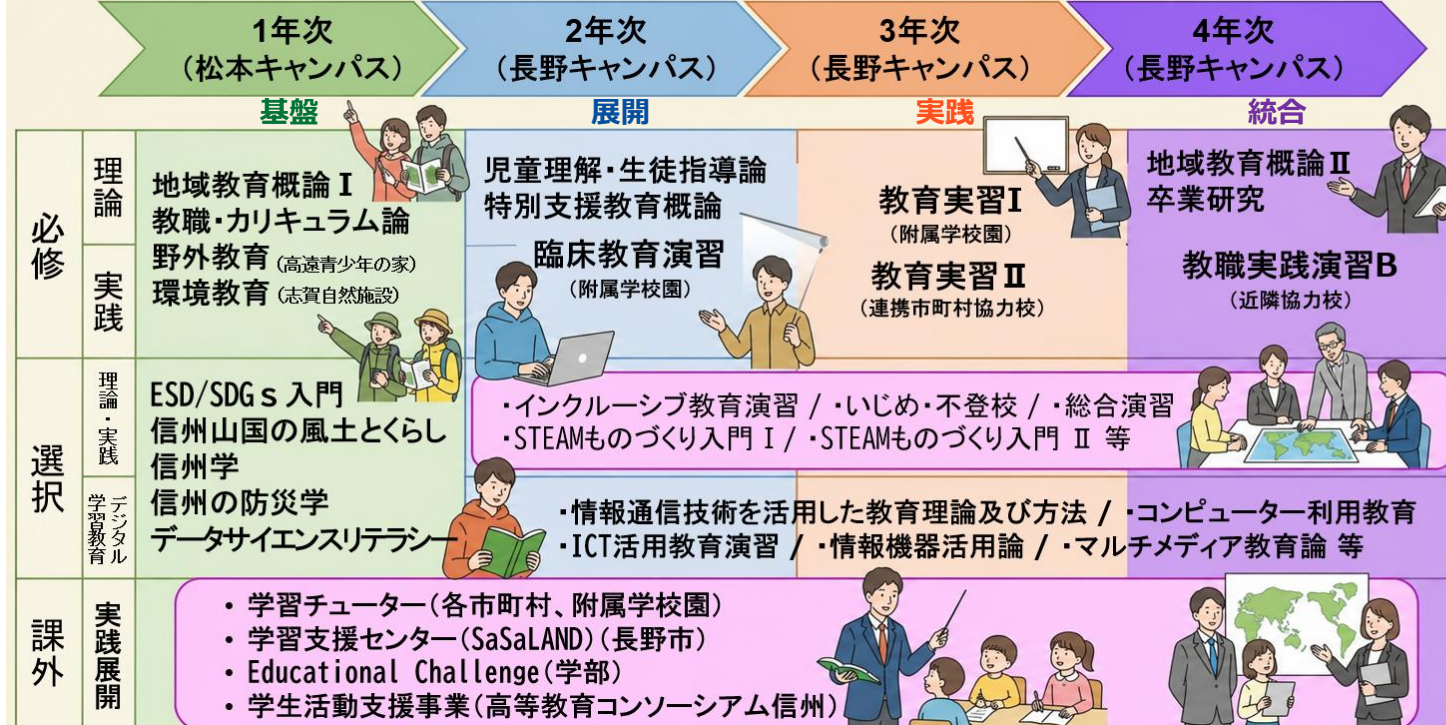
【入り口】
高大接続

入試

【養成】4年間の立体的カリキュラム (実践知の獲得)
「信州教育」を実現する特別教育プログラム

【出口】
採用・活躍

◆ 総合型選抜Ⅰ (地域教員希望枠)
・ 10コース定員30名
・ 地域課題に主体的に取り組む学生を選抜
◆ 高校生先取り履修 (全国版に拡充・入試加点制度)
◆ 早期から教職志向×地域志向人材を育成・確保



◆ 大学推薦枠の活用・拡充 (18枠→約22枠)
◆ フォローアップによる地域定着と中核教員の育成
◆ 特別選考制度 (履修実績等の総合的評価の反映)

◆ コーディネーターの役割
・ 教育委員会との連携調整
・ 教育実習・授業の設計・学生の伴走支援

地域教員希望枠の学生を長野県全県で育成するという目的を共有し、各段階における組織的な支援体制を構築

信州大学

地域教員希望枠連携協議会

教育行政機関

教育プログラム設計、実習配置、採用・育成方針を一体的に共同企画・運用

・ 地域教員希望枠の大学推薦による採用・配置の推進・安定的確保
・ 若手教員による教育実践・教育プログラム実践支援

- ・ 長野県教育委員会と連携し、地域課題の設定、入試設計・運用の検討、教師像の共有、選抜方針の調整、入学後の教育プログラム及び教員採用と接続を図る
- ・ 各市町村教育委員会と連携した地域教員希望枠学生を対象とした特別教育実習の実施
- ・ 長野県教育委員会や各市町村教育委員会、信濃教育会、地方行政・NPO等と協働での授業デザイン
- ・ 長野県教育委員会と地域枠学生を対象とした特別選考の導入と在り方について具体化